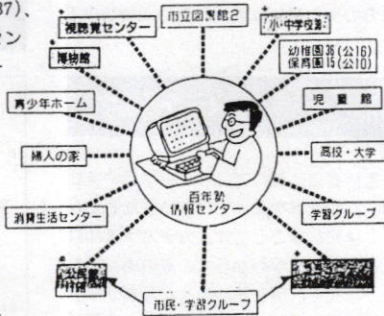




## 10月からスタート予定の百年塾情報システム

市の全公民館(11)や小・中学校(37)、コミュニティセンター(2)、視聴覚センター、博物館などに通信のできるワープロやパソコンを設置しました。10月から百年塾関連情報を施設や家庭で、いつでも取り出すことができます。当面提供できる情報は、①市民教授情報 ②講座・事業情報 ③学習グループ情報 ④学習施設情報などです。学びたい講座等を選び活用してください。生涯学習のための先生や学習機会、施設などの情報を提供するのが百年塾情報システムです。今後、スポーツ・文化・福祉・地域イベント情報など情報



量を増加させてゆく予定であり、ワープロ通信は簡単ですので、各家庭でご検討ください。



日本全体があげて生涯学習に取り組み始めている中で、私達は今、日立市の「生き生き百年塾」の構想に大いに注目しています。

## 百年塾に期待する

茨城大学教授 菊池 龍三郎

「百年塾」の構想を見て誰もがまず思うのは、日立市民の皆さんの市民意識の高さ、市民活動の豊かさであり、それに対応する行政水準の高さです。この構想をみて日立市と市民は、もうかなり文化的に感熱しているなという感じを強く持っています。

言うまでもなく、生涯学習というのは市民一人ひとりが学習・文化・スポーツ・リクリエーション活動を生涯にわたって行うことです。しかしそれだけではなく、地域を「学習社会」につくり変え

るという意味をも持っています。「学習社会」は「学歴社会」ではありません。一度身に着けた学歴が一生懸命を言うような社会から、言葉の本当の意味で平等な社会につくり変えることなのです。その意味でも例えば「市民教授」の考え方は、もしも本当にうまくいったら実は世の中をつくり変える力にもなりうるのです。なぜかと言えば、私達は他人に物を教える職業や人物というものを固定的に考えてきました。学校時代に勉強の出来た人、いわゆるいい学校に入った人だけ

## 推進本部の総会終る

推進本部の定期総会が、本部長立花市長と副本部長ほか各部会長に委員多数が出席し、平成元年度総会として5月20日勤労青少年ホームに於て開催されました。総会は昭和63年8月発足以来の事業及び一般会計と特別会計決算報告につき、平成元年度の事業計画案の審議に入り、各専門部会の事業の確認と全体事業の役割分担などを決定。予算も事業の拡大

と展開にともない総予算で前年度を大きく上回る額となり、慎重な審議の結果拍手をもって決議されました。総会終了後「日立の教育と文化を考える市民講座」と題するビデオで、市内に於ける生涯学習活動を上映し、記念講演は「生涯学習の進め方」一百年塾に期待する一テーマで、茨城大学教授菊池龍三郎先生の百年塾運動に役立つ話を聞き全体を終りました。

## 平成元年度の事業計画決まる ひたち生き生き百年塾

### ■全体事業

- ①推進本部定期総会(5月)
- ②生涯学習フェア in 日立 (NHKとの共同事業)
- ・生涯学習シンポジウム (10.13)
- ・生涯学習実践発表会 (10.14)
- ・NHK公開セミナー (10.14) 「実践はなしことば講座」
- ・NHK公開録画 (10.14) 「魅惑のラテンダンス専科」
- ・NHK公開セミナー (10.15) 「いきいきセカンドらいふ」
- ・NHK公開録音 (10.15) 「ゆかいなコンサート」

### ■専門部会事業

- 企画広報部会
  - ①日立市報「百年塾ひろば」定期掲載
  - ②機関紙の発行

第3号(7/20) 第4号(2/5)

- ③企業モデル事業(2社)
- ④百年塾ガイドブック作成
- 事業部会
  - ①公民館等モデル事業(30事業)
  - ②日立の教育と文化を考える市民講座
  - ③50歳市民のつどい(11.22)
- 学校教育部会
  - ①学校モデル事業指定校 大久保小・金沢小・日高中
  - ②PTA家庭教育講座指定校 塙山小・宮田小・大沼小 東小沢小・泉丘中・坂本中
- 市民教授部会
  - ①市民教授のつどい(5月)
  - ②市民教授募集・登録・活用の促進
- 情報システム部会
  - ①百年塾情報システム開始(10月)

## 市民教授のつとめを開催

去る5月7日(日)に、視聴覚センターにおいて、市民教授のつとめを開催しました。これは、市民教授の方々に百年塾の趣旨を理解していただくために開催されたもので、120名の市民教授が参加しました。

永井久副本部長から、「ひたち生き生き百年塾プラン」の説明があり、そのあと市民教授の国際交流の分野に登録して

いる東智晴(下深沢町)さん、幼児の絵と心理の瀬谷典雄(西成沢町)さん、影絵のつくり方の齊藤良崇(金沢町)さんの3人の方から、それぞれ市民教授になっての抱負や百年塾運動に期待することなどの意見発表がありました。最後に、茨城大学教授帯刀治先生から市民教授としての心構えや市民教授の役割についての講演で締めくくりました。

## 百年塾学校モデル事業がスタート

今年から2年間、大久保小、金沢小、日高中の3校で、百年塾学校モデル事業が始まりました。

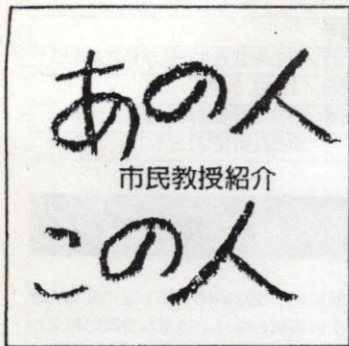
「ひたち生き生き百年塾」プランでは、「学校は生涯学習の基礎づくりの大切な時期であり、場です。学校は、地域の学習の中心として、施設の開放にとどまることなく、地域住民の学校教育現場への参加、教師の地域活動への参加、生涯学習モデル校の設置などが行なわれ、生涯学習時代にふさわしい学校へと変化する事が望まれます。」と提言しています。

文部省でも、学校を生涯学習の一つの機関と位置づけ、学校が変わらなければ、生涯学習は実現できないと考えるようになってきました。そして、そのときの課題として、生涯にわたる自己実現力を育成することが大事だといっています。自己実現力を養成するためには、まず主体的に学ぼうという意欲を育てることであり、もう一つは学習の仕方をきちんと覚えさせることです。各校とも①自己教育力の育成 ②市民教授の活用 ③地域との連携、など、生涯学習の基礎づくりに力点をのいた活動をすすめることになっています。



が教える人と考えてきました。ところが市民教授の構想は、「人間は誰れでも他人に教えるものを持っている、逆に誰もが誰からでも学ぶことができる」という考え方です。これは人を学歴や性や職業やお金や地位によって評価する考え方はありません。一人ひとりが人生の中で積み上げてきた糧をもう一度世の中のために使おうとする考え方です。生涯学習は、そういう世の中をユートピアではなく現実のものとしていく市民の運動なのです。私達はその中でいずれ日立市にユニークな「学風」が生まれ、一味違った市民が誕生するのを今のうちから心待ちにしています。

# あのまち、このまちに百年塾市民教授368人誕生



歌唱教授 永沼美紀さん ▶

昭和55年から野口雨情の童謡を各地のホールや学校などで歌いつづけてきました。少しでも多くの人たちに、童謡のすばらしさ、歌う楽しさを知っていただきたいと願っています。(平和町1-18-1)



ンなど何でもよく、かぎ棒か棒ばりがあれば簡単に作品づくりができます。(鹿島町2-9-6)



編み物教室 増田和子さん ▶

市内の小中学校で家庭科の学習やクラブの指導をしていた経験を生かし、自分でも好きなので、教多くの作品を作り、活用しています。材料は毛糸、サマーヤ

幼児保育教授 諸田なみ子さん

すえひろ児童館の幼児の時間で、ボランティア保育を2年体験、ユニークな音楽をとり入れた保育指導をしています。とくに身障者の指導にあたりたいと望んでいます。(金沢町7-15-4)



土器づくり教授 綿引逸雄さん

ロクロを使わず、手で土器をつくり、カマを使わず、焚火で焼いて縄文式土器をつくる方法を教えています。土器づくりをしながら、古代人の生活やロマンを感じる楽しい遊びです。(中深沢町272)



## 大正琴教室はじまる

市民教授の照沼安志さんを講師として、東金沢公民館で、6月から「初心者大正琴教室」が始まりました。3回目の7月5日は、全員で「さくらさくら」の合奏に取り組み、真剣な練習に励んでいました。参加者は女性だけでの19名ですが、11月の文化祭には発表したいと特訓中です。

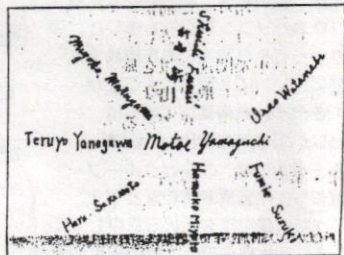


## ローマ字教室が今では英会話塾

泉が森公民館



生活周辺に溢れているローマ字や英語は、英語教育を受けていない人たちにとっては難解なことです。カタカナ英語は読めても意味がわからず、その度に孫をつかまえて「何と読むの、どんな意味」と聞けば、最初の頃は相手になって親切に教えてくれるが、後が続かないのが世間相場。そんなことに負けじと、自らがローマ字を習いましょうとグループをつくり、百年塾市民教授に登録されている山口元恵先生にお願いして、4月から学習を始めたという、発端もほほえましいローマ字教室が始まったのです。



あれから4ヵ月、今では初歩の英会話を学習しているのです。絵入りのテキストを見ながら、先生に続いて声を出して読み、生徒同志でQ & Aの会話をしたり、間違いは笑って済ませる楽しい学習を楽しんでいました。上の写真は皆さんが習ったローマ字のサインです。

## エスペラントは楽しい、夢あるゴトバ

機関紙第2号で紹介したエスペラント教授大和田SOYOさんの講座が、泉が森公民館で開講されました。

耳慣れない言葉エスペラント。その言葉は、1887年、ポーランドのザメンホフが世に送り出して以来、ヨーロッパを中心に、思想・文化の違いを越えた、民衆と民衆の国際交流を育て、イキイキとしたコミュニケーションを生む言葉となり、今では国際語になったとのこと。

教室は座敷の中央に机を並べ、4人が向きあって座わり、先生は表情豊かに、手ぶり混りてエスペラント(以下エス語

と略す)を話していました。

テキスト学習が済むと、おぼえたてのエス語で作文する宿題が出され「日本語で書いてからエス語を入れると楽よ」とアドバイスをする先生自身が楽しみながら共に学んでいました。

「海外旅行をして、外国人とエス語で話をするのが夢」と語る石塚さん、「外国の人たちと文通を楽しみたい」と語る御代田さんは、短歌をエス語で表現する優等生。「今は夢中です」と若い神さん。夢の実現に向けて時間を忘れていたようにした。



## 百年塾 けいじばん

### つづけます市民教授募集

昨年から市民教授募集を始め、この6月末で368人の市民教授が誕生しました。これは、多くの市民の方々に百年塾の大切さを理解していただいたことによると思いますが、引き続き市民教授を募集しておりますので、積極的なご協

力をお願いします。また、百年塾情報システムの10月スタートまでに、百年塾の共に学び教えあうという「共有システム」の充実を図りたく、あなたの身近にいる人の推薦やあなた自身の登録をよろしくをお願いします。むずかしく考えず、あなたの特技や知識を少しでもだけわけてください。「あなたもわたしも市民教授」と、

気軽に登録ができます。まち全体を学び舎として、だれでも、いつでも、どこでも学べる百年塾づくりのため、今年もつづける教授や日曜大工教授を含め、市民教授1000人募集を続けています。

「登録申込書」は、もよりの公民館か社会教育課にあります。電話でも申し込みを受け付け、申込書をお送りします。

- 申し込み、問い合わせは、もよりの公民館へ
- 豊浦公民館(43-5755) 日高公民館(42-4050)
- 中里公民館(59-0013) 滑川公民館(22-1654)
- 日立公民館(22-6483) 成沢公民館(35-5587)
- 東金沢公民館(35-8329) 多賀公民館(34-0535)
- 泉が森公民館(52-3225) 久慈公民館(52-3349)
- 坂下公民館(52-4362) 社会教育課(22-3111)